

R5年度 年度末評価  
一学校運営評価・尺度一

評価尺度  
5:よい 4:ややよい 3:普通 2:やや不十分 1:不十分

評価項目		R4年度 未カテ ゴリー 別平均 値AVG	R4年度 平均 値AVG	R5年度 カテ ゴリー 別平均 値AVG	R5年度 中央値 MED	R5年度 平均値 AVG	評価の視点 □:「3」普通のレベル ■:加点項目(例示) *黄色のセルは当学院オリジナル項目	R5年度末評価のまとめと課題
I 学校運営	1 学校のビジョンおよびそれを実現するための中期目標と単年度目標を策定しており、かつ、教職員に理解され、教職員の提案を活かしているか	3.9	3.9	3.9	4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 単年度目標を文章化している <input type="checkbox"/> 目標を教員に周知している <input checked="" type="checkbox"/> 中期目標を文章化している	教育理念、教育目標をふまえ、年度重点目標を策定している。年度初めに職員教務会議で教職員への周知、意見交換を行っているが、今後学生の目標到達度の中間評価の際に、重点目標を共有する機会を作る。
	2 目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか		4.0		4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 単年度目標の評価を実施している <input type="checkbox"/> 評価結果を教職員に周知している <input type="checkbox"/> 評価結果を次年度の目標に活かしている	年に2回目標を評価し、目標達成度を会議で確認している。今後年度末評価を行い、次年度の目標につなげ教職員全員で目標を立てている。
	3 学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか		3.8		4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 評価結果を教職員に周知している <input checked="" type="checkbox"/> 改善計画を策定し、改善を行っている	学校運営評価を行っており、教務会で共通認識をしている。中間評価での課題を年度末までに取り組む改善策を教務会で検討している。
	4 特色ある学校づくりを進めるために、教育内容の充実に努めている		4.0		4.0	3.9	<input type="checkbox"/> 社会的要請に応えた学校の特色について検討する場がある <input checked="" type="checkbox"/> 教育目標に社会的要請に応えた学校の特色を反映させている	主体的な学びを促すため、チームティーチングで指導力の向上に努めている。今年度からipadの活用と電子テキストを導入しICT教育にも取り組み出している。チームティーチングやICT教育、病院とタイアップした行事への参加を学校の特色とし、学校説明会やホームページで外部に配信している。今後、 <b>社会の要請に応じたDX化を計画し、活用能力を高める必要がある。</b>
	5 学校運営委員会が、学校運営に関する議論の場として機能しているか		4.1		4.0	4.0	<input type="checkbox"/> 会議を定期的実施している <input type="checkbox"/> 会議の議題を事前に周知している <input type="checkbox"/> 議事録を整備している	前期・後期の年2回定期開催している。学校運営委員会との報連相の強化に努めている。
	6 教務会が学年および各看護学の目標達成や年間指導計画実施の場として機能しているか		3.7		4.0	3.7	<input type="checkbox"/> 年間の会議日程、議題が明確になっている。 <input type="checkbox"/> 議事録を整備している <input checked="" type="checkbox"/> 事前に資料を配布している	職員教務会議は年間計画を立て、週一回実施し議事録等の整備はできている。会議内容・司会の役割・事前準備を再度検討していく。 <b>学生指導に関する検討の強化を図っていく。</b>
II 教育課程・教育法	7 教育目標に、養成する看護師が卒業時において持つべき資質を明示するとともに、卒業時の到達状況を分析しているか	3.8	3.7	3.7	3.0	3.4	<input type="checkbox"/> 期待される卒業生像を教育目標に表現している <input checked="" type="checkbox"/> 卒業時の到達状況を分析している	卒業時に学生の自己評価による到達状況の確認を行っている。学年の到達目標確認の際、ディプロマポリシーの意識づけを行う。 <b>来年度は新カリキュラムの卒業生となるため、ディプロマポリシーに基づくルーブリック評価表の作成とカリキュラム評価の計画立案をしていく。</b>
	8 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか		3.9		4.0	3.9	<input type="checkbox"/> 検討する場を設けている <input checked="" type="checkbox"/> 毎年見直しを行っている	教育理念・教育目標から一貫性のある教育課程になっている。新カリキュラムは、科目ごとに内容を検討する場が増えている。 <b>新カリキュラムの担当領域の評価を行い、カリキュラムの評価に生かす。</b>
	9 定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか		3.8		4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 検討する場を設けている <input checked="" type="checkbox"/> 毎年見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 評価結果を教育課程に反映させている	卒業生アンケートはカリキュラム評価に活用している。授業アンケートにおいて、教員の授業評価を行い、主体的な学びを促す授業の改善に活かしている。
	10 シラバスは、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか		3.9		4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 検討する場を設けている <input type="checkbox"/> 内容が具体的、統一的である <input type="checkbox"/> 授業科目間の調整をしている <input checked="" type="checkbox"/> 毎年見直しを行っている	教員担当のシラバスは事前学習と具体的な学習内容に改善した。非常勤講師とシラバスの内容や進度の修正が必要である。
	11 授業の一貫性を確保するために、1教科の担当者数を最小限にするとともに、担当者間の連携がとれているか		3.4		4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 1単位(30時間)につき、担当者を3人までにしている(専門基礎分野を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に担当者間の調整をしている(講師交流会)	領域別の科目は3名の講師になっている。科目担当者同士の連携がとれるように、開講前に領域担当教員が調整役となり打ち合わせを行い、相談を受けている。 <b>教員の講師との調整力を強化する。</b>
	12 効果的な授業運営を図るため、教材の準備・整理のため時間割を調整しているか		3.7		4.0	3.7	<input type="checkbox"/> 時間割作成時に教員と調整をしている <input checked="" type="checkbox"/> 学習の順序性を考慮した時間割となっている	非常勤講師の時間割変更が多いことで、時間割調整が困難であった。学生への時間割変更は用紙を配付し、演習室の使用が重ならないよう調整を行った。
	13 授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善しているか		3.9		4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 授業(講義/演習)案を検討している <input checked="" type="checkbox"/> 実習指導案を検討している <input checked="" type="checkbox"/> 授業研究を実施している	講義・演習において教員がチームティーチングで学生が主体的に自立した学習ができる授業づくりを継続している。授業アンケートを実施し、講師にもフィードバックしている。授業内容や指導方法についての打ち合わせと振り返りを行っている。 <b>専門領域ごとに実習指導者との指導の打ち合わせを行うなど、指導の強化が必要である。</b>

評価項目		R4年度 末カテ ゴリ 別平均 値AVG	R4年度 未平均 値AVG	R5年度 カテ ゴリ 別平均 値AVG	R5年度 中央 値 MED	R5年度 平均 値 AVG	評価の視点 □: 「3」普通のレベル ■: 加点項目 (例示) *黄色のセルは当学院オリジナル項目	R5年度末評価のまとめと課題
II 教育課程・ 教育活動	14 未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか		3.4		3.0	3.3	□教員は未修了科目の原因把握・分析をしている □学生は自己分析を行っている □分析の結果をもとに、教員と学生が話しあう場を設けている	進路変更による退学者が1名(3年生)。出席時間と評価点数が満たないため、未修了科目がある学生は延べ人数4名(2年生2名、3年生2名)であった。欠席が多い学生には、健康管理の支援と出席時間確認の声掛けを行った。今後、出席状況が学生も分かるシステム導入とシラバスへ表記する予定である。成績低迷者や学習支援が必要な学生には、学習状況を確認しアドバイスをを行ったが、点数が不合格になる学生がいた。未修得科目がある学生には、ともに振り返りを行っているが、学生の自己分析力が弱い。また、実習評価が60~70点で単位認定されている者は、看護実践力が低いと考え、低学年から実習前後に学生の個別性に合わせた分析と指導の強化が必要である。
	15 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っているか		4.0		4.0	4.0	□実習先において更衣室やC Fルームがある ■実習指導者が固定(1週間程度)した病棟を選択している ■教員の専門性が保たれた体制になっている	感染症のため学内実習になることがあったが、予定の実習がほぼできた。すべての実習に関して実習環境は整っている。小児患者がいない場合の学習環境も今後必要である。臨床指導者との新カリキュラムの実習目的と内容の共通理解と実習指導体制や指導方法について連携を強化する必要がある。
	16 学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価が公平性・妥当性が保たれているか		3.9		4.0	3.9	□評価基準を書面で提示している □評価方法を学生に説明している	教育要項や実習要項に明記している。実習では中間評価や面談で課題を明確にし、評価の際は評価会を行い妥当性を検討している。ルーブリック評価を充実させ、学生に評価項目を提示し取り組ませる。再実習指導も増えており、指導者との指導案の検討が必要である。
	17 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者等の同意を得た上で、実施しているか		4.2		4.0	4.2	□患者への倫理的配慮に関するガイドラインを策定している □受け持ち患者に説明し、事前に同意を得ている	ガイドラインに沿って受け持ち患者、事例研究について説明と同意を得ている。ケアの実施や処置や検査等を見学する際は、必ず口頭での説明と同意を得ており、学生にも指導している。
	18 実習において、学生が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善策を講じているか		3.7		3.5	3.5	□インシデント等の発生時のマニュアルを作成している □インシデント等の分析をしている □教員、学生が共にインシデントに係る情報を共有している ■学生が関係したインシデントについて、分析及び再発防止に取り組んでいる	学生のリスクの高いヒヤリハット報告(2~8以上)はタイムリーに教員間で情報共有をしている。その他のヒヤリハット報告に対する分析と対策を教務会で検討し、教員の分析力と指導力を高める。指導者の分析の視点も必要。また、学生自身の分析力をつける指導と掲示板を活用し、学生間の共有の強化を促す。3年次のヒヤリハット報告はR5年度67件(R4年度145件)と少ない。講義・演習でもリスク感性を高める指導を強化する。
	19 実習指導者と教員の役割を明確にしているとともに、実習指導者と教員の協働体制を整えているか		3.6		3.0	3.4	□定期的に指導者会を開催している □実習指導者と教員との事前打ち合わせ、事後反省会を行っている ■実習指導者、教員の役割を文書化している	定期的に指導者会では、指導者と学院からの伝達や報告により情報共有できている。指導者の自己評価項目の見直しと修正を行った。再実習者も増えており、学習会を利用して指導方法の検討や協議することを強化する。また、実習指導者との事前打ち合わせや振り返る機会を効果的に利用し、倫理観や社会人基礎力を高める指導方法をともに検討する。
	20 学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めているか	3.8	3.9	3.7	4.0	3.8	□専任教員は全員が授業評価を実施している □非常勤講師に対して、協力を依頼している □評価の実施方法が学生の素直な声が反映できるものである □評価の結果をその後の授業・実習の改善につなげている □学生及び実習施設に、結果を伝えている ■非常勤講師も授業評価を実施している ■評価結果を検討し、次年度の課題を明確にしている	WEBでの授業アンケートを実施している。回収率60~70%であり、促すことが多いため対策が必要。全国的なアンケート回収率を参考に60%以上の回収率を目指すとともに、今後カリキュラム評価を意図した講義、実習アンケートの内容の修正を予定している。
21 学生指導において、学生に対して人権への配慮がなされている		4.1		4.0	3.9	□学生の人権に対するガイドラインを文書化している □学生のガイドラインを周知している	ガイドラインに沿って学生の人権を尊重した関わりを行うため、個別指導の際は指導内容や時期に関して教員間で検討と情報共有に努めている。学生自身が指導内容を理解、受け止める力が弱くなっており、看護師として成長させるための丁寧な説明・理解度の確認など学生自身が内省できる教員の学生指導力を高める。	
III 入学・卒業対策	22 より多くの応募者を確保することに努めているか		3.7		3.5	3.5	□学校独自のPRを行うなど、積極的に広報している □学校説明会は参加者の利便性(曜日・時間)を考えて開催している ■募集倍率が、自校でさだめた基準を達成している(1.5倍以上)	今年度も高校訪問18校、進路ガイダンスに11件参加した。しかし、高校生人口の減少、大学への進学希望などにより看護専門学校受験希望者が少ない現状がある。中学生・高校生・低学年へ向けた働きかけや広報活動を検討する。学校開放日と平日に5回/年、学校説明会を予定する。
	23 国家試験対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教員一丸となって取り組んでいるか	3.7	3.3	3.6	3.5	3.5	□国家試験対策のための指導体制をつくっている □前年度不合格者に対して、指導・情報提供を行っている □国家試験の合格者が全国平均合格率を上回っている ■講義・実習の中で学習内容を関連させている ■国家試験の合格率が100%である	模擬試験の結果で、必修8割を下回る学生10名をサポートメンバーとした。国試担当教員が2~3名の学生を担当し指導に当たり、適宜学習状況を確認してきた。また、業者の講習会を2回導入し学力を強化するなどの取り組みをした。
	24 卒業生の近隣への就職率を高めるよう努めているか		4.0		4.0	3.9	□進路指導において、近隣病院などの募集情報を収集し、学生に提供している ■県内への就職率は90%である ■公立岩瀬病院の求める就職率が100%である	卒業生25名の状況は、24名が就職・進路先が決定し、1名は進路未定である。24名のうち、20名就職、4名進学、県内就職内定者は14名(70%)県外4名(30%)当院への就職率は100%であった。年度初めの就職先決定を含めた面接の際には、本学院の設置目的を学生へ伝えた。毎年病院説明会や進路ガイダンスなどを行い、近隣への就職率を高める働きかけをしている。今年度は、2年生の時点で県外就職希望が4名いた。入学時や各学年の新年度で県内就職強化のアナウンスをし、していく。

評価項目		R4年度 末カテ ゴリー 別平均 値AVG	R4年度 未平均 値AVG	R5年度 カテ ゴリー 別平均 値AVG	R5年度 中央値 MED	R5年度 平均値 AVG	評価の視点 □: 「3」普通のレベル ■: 加点項目 (例示) *黄色のセルは当学院オリジナル項目	R5年度末評価のまとめと課題	
IV 学生生活への支援	25 学生の心身面での健康管理体制が整っているか	3.9	4.1	3.8	4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 施設内は完全禁煙になっている <input type="checkbox"/> 禁煙教育をしている <input type="checkbox"/> 健診の再診率が80%以上 <input type="checkbox"/> 適宜、校医(学院長)と情報交換をしている <input checked="" type="checkbox"/> カウンセラーの存在、役割を学生に周知している	今年度もスクールカウンセラーにカウンセリングを受けることができるシステムがある。今年度は、カウンセリング予定者24名、相談者15名であった。健診は全員が実施しており、健康管理体制は整っている。再診率が、1年生(40%)2年生(55.5%)3年生(25%)と低いため、今後口頭に加え、用紙を渡すなど確実に再診してもらえるような取り組みをしていく。	
	26 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に充分応じているか		4.1			4.0	4.1	<input type="checkbox"/> 奨学金、アパートなど経済的支援の相談に応じると共に、情報を提供している <input type="checkbox"/> 奨学金等の資料を整備している <input type="checkbox"/> キャリア支援プログラムができていく <input type="checkbox"/> 進学、就職に関して相談に応じると共に、情報を提供している <input type="checkbox"/> 進学、就職のための面接・論文指導を行っている	奨学金の利用については、学生の相談に応じて情報提供を行い支援している。現在、1年生10名、2年生5名、3年生10名が奨学生となっている。1年次からキャリア形成論を科目立てし、マイナビの出前講座を活用しながら実習や進路に関する情報提供を行っている。
	27 前年度の卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その対策を講じているか		3.6			3.0	3.3	<input type="checkbox"/> 学生が卒業後も相談しやすいように窓口などを整備し学生に周知している <input type="checkbox"/> 卒業生に図書室などの設備を開放している <input checked="" type="checkbox"/> 就職先での評価を把握している	求人募集で卒業生の現状を把握できる機会がある。当院に就職した新卒者の状況も把握する機会はある。しかし、問題点に対する分析と対策について検討する機会をつくることはできなかったため、今後検討する。
V 管理運営・財政	28 予算計画、年間授業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか	3.9	4.2	3.8	4.0	4.1	<input type="checkbox"/> 計画的に設備整備などを行っている <input type="checkbox"/> 授業料の滞納がない <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減対策を行っている	予算は総務課とヒアリングを行いながら、適正に管理・運用されている。後期授業料の振込期限を守れない学生の対応に苦慮した。期日までに納付されるよう、未納の学生に対しては文章を送付する等の対策を講じる。	
	29 学生・非常勤講師や教職員の個人情報保護について、考慮しているか		4.0			4.0	4.1	<input type="checkbox"/> 個人情報保護のガイドラインを文書化している <input type="checkbox"/> 学生・教職員に周知している	学生便覧にも個人情報に関するガイドラインを明文化している。実習記録管理については、1年生は初めての実習で理解できていない学生もいたため、その都度説明し管理されているが確認する。
	30 災害など非常時の危機管理体制が整っているか		3.9			4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 防災マニュアルを作成している <input type="checkbox"/> 防災訓練を年1回実施している <input type="checkbox"/> 毎年、防災マニュアルの見直しを行っている	防災用品の確認と、訓練を実施することができた。また、今年度は母体病院の防災訓練にも参加し、能登半島地震における災害派遣活動を通して防災への意識が高まった。
	31 学校運営などに学生の意見が反映されているか		3.2			3.0	3.0	<input type="checkbox"/> 学生の意見・要望を聞く機会を持っている <input type="checkbox"/> 意見要望について教務会に対応策を検討している <input checked="" type="checkbox"/> 意見要望及び対応について、学生に公表している <input checked="" type="checkbox"/> 意見要望を積極的に受ける体制を作っている	意見箱を更衣室前に移動したが、活用されていない。現在の学生の傾向をみると、授業アンケートや満足度調査に要望を記載している学生が多いと感じる。それらも参考にしながら、検討すべき内容は検討する。また口頭で定期的に要望を聞く機会を設ける。
VI 施設設備	32 校舎は、耐震性に優れ、バリアフリーなどに配慮された構造になっているか	3.3	2.7	3.3	3.0	2.8	<input type="checkbox"/> 耐震基準をクリアしている <input type="checkbox"/> 車椅子での移動が可能なスロープを設置している <input type="checkbox"/> 障害者用トイレを設置している	耐震性は調査し、基準を満たしている。玄関が自動ドアになり、来客者が明確になってから学内に入るようになって安全性は高くなった。2、3階のトイレ改修により快適になった。現在1階トイレ改修中。	
	33 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており活用されているか		3.8			4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 教育内容にふさわしい教材を整備している <input type="checkbox"/> 図書は、計画的に新刊書を購入している <input type="checkbox"/> 学生の自主学習のために、教材や設備を活用させている <input checked="" type="checkbox"/> PCは、授業時に一人一台使用できるよう整備している	計画的に予算を活用して図書、備品を購入している。
	34 学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられているか		3.3			3.0	3.4	<input type="checkbox"/> 自由に使用できるスペースがある <input type="checkbox"/> クラブ活動などできる場所がある	限られた施設ではあるが学生は感染予防に注意して使用している。
VII 教員の育成	35 学生の抱えている課題を踏まえた職場内研修を行っているか	3.2	3.1	3.6	4.0	3.1	<input type="checkbox"/> 課題に沿った研修を企画している <input type="checkbox"/> ほとんどの教員が出席している <input checked="" type="checkbox"/> 研修内容を教育に活かしている <input checked="" type="checkbox"/> 他校にも参加の機会をひろげている	学生の課題や健康面については教員間で情報共有し、指導方法の統一化を図っているが、研修会まで行うことはできていない。日々の業務についての勉強会などを長期休暇等に計画する。	
	36 研修や出張で学会等に参加した成果を他の教員に還元する仕組みがあるか		3.7			4.0	3.7	<input type="checkbox"/> 伝達講習が行われている <input type="checkbox"/> 伝達講習内容を教育に活かしている	研修参加後なるべく早い時期に伝達講習を行い、タイムリーに情報共有できるよう努めている。研修の学びを指導に繋げ、学生の反応をみながら振り返りが定着してきた。(演習や実習指導の際)
	37 教員が計画的に臨床看護研修会に参加しているか		3.1			4.0	4.1	<input type="checkbox"/> 臨床研修会の参加は20%である <input checked="" type="checkbox"/> 臨床研修会の参加は80%である	今年度は5名が臨床研修に参加した。今後も計画的に研修に参加する。
	38 教員が計画的に研究調査活動を行っているか		2.9			3.5	3.4	<input type="checkbox"/> 教員の20%程度参加している <input type="checkbox"/> 学内授業を参観できる教員が計画的に授業研究に参加している <input checked="" type="checkbox"/> 授業参観後に、活発な意見交換が行われている <input checked="" type="checkbox"/> 外部者の講評を受けている	ラダー研究2年目の2名が研究をまとめている。1年目は2名が研究計画立案に取り組んでいる。研究活動がしやすい環境調整と支援を行う。
	39 教員の授業を他の教員が参観、講評できる制度があるか		3.9			3.5	3.5	<input type="checkbox"/> 学内授業を参観できる <input type="checkbox"/> 教員が計画的に授業研究に参加している <input checked="" type="checkbox"/> 授業参観後に、活発な意見交換が行われている <input checked="" type="checkbox"/> 外部者の講評を受けている	前期には学外研修2名、後期は他校の公開授業に2名参加、1名が授業評価終了した。研修や評価後振り返りや伝達講習を行い、学生指導力や授業力の向上に努めている。

評価項目		R4年度 未カテ ゴリー 別平均 値AVG	R4年度 未平均 値AVG	R5年度 カテ ゴリー 別平均 値AVG	R5年度 中央値 MED	R5年度 平均値 AVG	評価の視点 □: 「3」普通のレベル ■: 加点項目 (例示) *黄色のセルは当学院オリジナル項目	R5年度末評価のまとめと課題
Ⅵ 広報	40 ホームページは、適時に更新し、見やすくしているか	3.4	3.3	3.4	3.5	3.5	<input type="checkbox"/> 定期的に更新している <input type="checkbox"/> 部外者が求める情報を掲載している	HPは入試関連での更新は行っている。今年度は、文化祭や学校説明会の掲載をした。在校生の関係者のみならず、高校生など様々な方を対象とした場合、更新する頻度は少ない。 <b>LINEを活用し、タイムリーに情報発信ができる取り組みを検討していく。</b>
	41 学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか		3.5			4.0	3.6	<input type="checkbox"/> 事業概要、学校案内等を作成している <input type="checkbox"/> 学校ホームページで公表している
Ⅶ 地域との連携	42 地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか	3.5	3.5	3.5	3.0	3.2	<input type="checkbox"/> 特別講演会は、地域住民に公開している <input type="checkbox"/> 地域に備品などを貸し出している	看護協会県南支部に新生児モデル人形を貸し出した。昨年度に比べ、コロナウィルスの影響は少なくなっている。 <b>様々な形での地域貢献を検討していく必要がある。</b>
	43 地域との協力関係が確立されているか		3.5			4.0	3.8	<input type="checkbox"/> 学校祭に地域が参加している <input type="checkbox"/> 地域の行事に参加している <input type="checkbox"/> 地域の小・中・高等学校の総合学習に協力している